

市長提出議案 39件
議員提出議案 2件
請願 1件



全議員が賛成した議案

予算

令和4年度一般会計補正予算(第10号)、
令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) など
予算案件13件

条例

地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の
一部改正、手数料条例の一部改正 など条例案件13件

その他

債権の放棄、第2期三田市子ども・子育て支援事業計画の改定 など事件決議6件
行政監察員の選任同意、農業委員会委員の任命同意 など人事案件4件
市議会の個人情報の保護に関する条例の制定 など議員提出議案2件

請願

特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正を求める
意見書提出についての請願 請願1件

議会内容等の詳細は、
三田市議会ホームページの
「審議予定・結果」を
ご覧ください。

賛否が分かれた議案



議案第5号 令和5年度一般会計予算 議案第11号 令和5年度市民病院事業会計予算

可決
賛成17名
反対3名

内容 第5号については、令和5年度の一般会計予算を計上する議案、
第11号については、令和5年度の市民病院事業会計の予算を計上する議案

反対討論

議案第5号について、解放学級事業は、市が「差別を受けなければならない地域はどこにも存在しない」としながら地域を限定して行う事業は認められない。子どもの医療費助成については、中学生までの一部負担と所得制限の撤廃および高校卒業までの拡充をすべきであると考える。また、新ごみ処理施設整備について、DBO方式による長期契約は非常に高額な上、市職員の専門的知識や技術の消失が懸念され、時代に合わせた柔軟な変更に対応しにくい等の問題があることなどを主な理由として、反対。

議案第5号および議案第11号の市民病院の統合に関する費用について、意見交換会やパブリックコメントでも反対の意見が多く、市民合意を得たと言える状況ではない中、スケジュールありきで統合を進める予算は認められないため、反対。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)

賛成討論

議案第5号について、解放学級事業は、人と人との共生のまちづくりを進める上で、あらゆる差別の解消に向け継続した取組が必要である。子育て支援医療費助成については、応能・応益の考え方を基本に過度な市民負担とならないように設計されている。また、新ごみ処理施設については、DBO方式により民間事業者の創意工夫を活用した建設コスト削減や先進事例により蓄積されたノウハウが最大限発揮できると考える。新しい未来を切り拓き、住み続けられるまちを目指す予算として適切に編成されているため、賛成。

議案第5号および議案第11号の市民病院の統合に関する費用について、現状のままでは三田市および北神地域の急性期医療が失われることが危惧される。急性期医療を将来にわたって堅持し、充実することが必要であるため、賛成。

(盟政会 森本政直)

賛否が分かれた議案 (松岡信生議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成：○ 反対：×

件名	盟政会				新政みらい				公明党		日本共産党三田市議団			市民の会		日本維新の会三田		無党派	結果		
	福田秀章	森本政直	幸田安司	小杉崇浩	今北義明	厚地弘行	北本節代	佐貫尚子	中田哲	大西雅子	福田佳則	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	檜田充	美藤和広	肥後淳三	小山裕久		林政徳	井上昭吾
予算 令和5年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成17人 反対3人 可決
予算 令和5年度市民病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成17人 反対3人 可決
条例 三田市個人情報保護法施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成17人 反対3人 可決



議案第17号 三田市個人情報保護法施行条例の制定について

可決
賛成17名
反対3名

内容 社会全体のデジタル化に対応した個人情報保護とデータ流通の両立を目的とした個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、現行条例を廃止し、当該条例の制定等を行う議案

反対討論

個人情報が「保護するもの」から「活用するもの」へ変質していることは大きな問題である。また、匿名加工情報のもととなる情報は個人のものであるが、本人の知らないところで行政から民間へのデータ提供が可能となる上、本人からの利用・提供停止、削除を請求する権利の規定がない。行政には、憲法が保障する基本的人権として個人のプライバシー保護が求められ、市民がどんな情報が集められているかを知り、不当に扱われないよう関与する権利やコントロール権、自己決定権等を保障すべきであると考え、反対。

(日本共産党三田市議団 長尾明憲)

賛成討論

当該条例案は、国のガイドライン等に基づき、的確な運用を図るための規定整備がなされたものである。仮名加工情報および匿名加工情報については、本人を識別するために他の情報と照合することが禁止されているとともに、適切な管理のため必要な措置を講じる義務も課せられており、国による安全管理対策が万全に図られている。また、個人情報保護委員会の監督・監視により、統一的な保護水準による適正かつ法令を遵守した運用が十分に図られるものと考え、賛成。

(公明党 大西雅子)